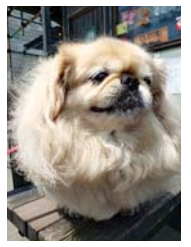
だんかづら



ミニーちゃん、ペキニーズ。7歳の女の子。材木座「魚梅」の美人看板娘。大人しくて、焼き豚が大好物。雷と花火が大嫌いで、パパとママが大好きです。　材木座　磯島さん方

始めましょう

●針糸なし一枚布でつくる魔法のドレス10月10日13時半、鎌倉駅西口そば三春情報センター鎌倉店(たらば書房隣)。材料費込3千円。ほほえみドレスの会☎046・871・1705

お知らせ

●漁協の朝市9月5日10時、腰越漁港。荒天時中止。腰越漁協☎32・4743

●槻の会写真展「四季の鶴岡八幡宮」9月3～8日鶴岡八幡宮休憩所。無料。事務局☎22・0315

●鎌倉歌壇さきがけ源実朝公顕彰歌会投稿募集10月15日まで。一首千円(郵便振込)。11月29日歌会・表彰。〒248―0013鎌倉市材木座2―9―29鎌倉歌壇係66・3297

●普通救命講習Ⅰ(鎌倉在住在勤在学者対象)10月13日9時、大船消防署。AEDでの成人の心肺蘇生法、止血法など。☎43・2424

きく

▼「モーツァルトの日」によるモーツァルトの弦楽四重奏曲　9月15日14時、藤沢リラホール。湘南モーツァルト愛好会第174回例会。弦楽四重奏曲第2番ほか。4千円。☎046・872・1963

▼川村祥子ピアノ謝肉祭―カーニヴァル　9月28日13時半、さくらプラザホール。シューマン&サン・サーンス「謝肉祭」、バッハ(オルガン作品)など。2500円。スパシーバ☎090・6568・3853

川村祥子さん

▼第1回敬老寄席―N葉山　9月16日13時、葉山町福祉文化会館。千円。逗子葉山鎌倉駅前寄席☎046・871・8805

▼鎌倉マンドリンアンサンブル第34回定期演奏会　9月22日14時、男女共同参画センター横浜。マンドリン合奏で「ペルーの女」など。無料。大江方☎32・5722

▼お祝い敬老コンサート　9月27・30日・10月1日はまゆう会館(横須賀)。10月2日なぎさホール(逗子)。10月3日三浦市民ホール。各13時。ピアノ、ヴァイオリン、歌など。千円、80歳以上百円。宮本方☎046・842・7592

みる

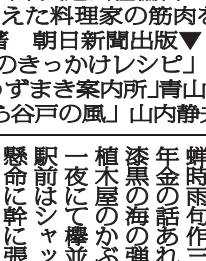
▼川喜多映画記念館　▽企画展「映画で巡る世界一周」10月6日まで。2百円。▽映画3・5・7日「僕の村は戦場だった」、3・7・8日「ケトとコテ」＋短編「映像」、8日はやらだたけひでさんトークも。4・6・8日「葡萄畑に帰ろう」、16・19・21日「1987、ある闘いの真実」。21日はチェ・ソンウクさんトークも。16・20・22日「恋恋風塵」、18・20・22「初恋のきた道」。千円。トーク付千5百円。　▽演奏会「旅と映画と音楽と」9月14日14時。2千円。☎23・2500

▼「清方と弟子たち―受け継がれる美」展　8月31日～10月22日鏑木清方記念美術館。初期から晩年にかけての清方の美人画と、弟子たちから清方夫妻へ贈られた寄せ描きなど、師弟の交流と受け継がれた風俗美人画の美を紹介。2百円。　▽日本画ワークショップ9月21日・10月20日の13時・15時。8百円。要申込☎23・6405

▼世界のレシピ写真展　9月1～27日あーすぷらざ。『全196ヵ国おうちで作れる世界のレシピ』から20か国のレシピを写真展示。無料。☎0455・896・2121

▼特別展　国宝鶴岡八幡宮古神宝　9月7日～10月6日鎌倉国宝館。創建時の鶴岡八幡宮の姿を偲ぶ作品を特集し、神宝を展示。国宝・籬菊螺鈿蒔絵硯箱、沃懸地杏葉螺鈿太刀、朱漆弓、黒漆矢ほか。4百円。☎22・0753

▼鎌倉文華館鶴岡ミュージアム・季節展示　9月7日～12月29日。鎌倉をテーマに鶴岡八幡宮の歴史から鎌倉文士に至るまでの展示パネルや映像資料を交えて紹介。3百円。☎55・9030



▼「和鏡―水鑑から魔鏡まで」展　9月7日～1月11日鎌倉歴史文化交流館。鎌倉市内で発掘された和鏡や鎌倉の寺院に伝世した和鏡などを展観。3百円。☎73・8501

▼「真教と時衆」展　時宗二祖上人七百年御遠忌記念特別展。9月7日～11月10日遊行寺宝物館(☎0466・22・2063)、10月5日～11月10日県立歴史博物館(☎045・201・0926)の二会場で開催。清浄光寺、無量光寺、蓮台寺の仏像や絵画などを展示。9百円。

▼湘南オープンウォータースイミング2019　9月7・8日湘南海岸(逗子、江の島、片瀬東浜)で水泳競技。見学無料。実行委☎0466・34・2117

▼「江の島を訪れたエトランジェ　描かれた異邦人」展　9月7日～10月27日藤澤浮世絵館。外国や相模地域の外からの来訪者を描いた浮世絵や資料を展示。無料。▽講演会「江戸時代の東海道を通った外国人　朝鮮通信使を中心に」9月21日14時。東海大学教授馬場弘臣氏。無料。要申込。☎0466・33・0111

▼第4回稲穂展　9月12日～17日ギャラリーやまと。早稲田大学鎌倉稲門会・美術同好会会員26人の絵画、写真、陶芸、ステンドグラスなど。無料。樽味方☎32・1544

▼第35回絵香会絵画展　9月14～18日鎌倉芸術館。油絵、水彩、デッサンの絵画作品約60点。絵香会☎45・3452

▼日本・フィンランド国交樹立100年記念「カイ・フランク」展　9月21日～12月25日県立近代美術館葉山。フィンランドを代表するデザイナーの日本初個展。フィンランド・ガラス博物館の収蔵品とタウノ・タルナ氏のコレクション約300点を展示。千2百円。▽記念シンポジウム22日タウノ・タルナ氏とフィンランド・ガラス博物館チーフ・キュレーター。☎046・875・2800

《クレムリン・ベル KF500/1500》1957年/タウノ&リーサ・タルナ・コレクション　photo by ©Rauno Träskelin

▽ヴェルディ歌劇「アイーダ」9月28日13時半、鎌倉芸術館。ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場で上演されたオペラを日本語字幕付き映像にて上映。3千百円。☎0120・1192・40

まなぶ

▼地域包括支援センターの催し(鎌倉在住者対象)　▽「認知症介護を一緒に考えよう」9月11日13時半、大町会館。無料。鎌倉きしろ☎40・4434　▽エンディングノート活用方法9月25日10時、大船駅周辺整備事務所。無料。きしろ☎42・7503

▼講演会「みんなで考えよう!身近な認知症」　9月25日13時半、深沢学習センター。無料。市内65歳以上対象。市民健康課☎61・3977

▼災害時に備える食生活講座(逗子在住者対象)　9月4日10時、逗子市役所5階。管理栄養士が食料備蓄や簡単防災食を話す。無料。要申込。市国保健康課☎046・873・1111

▼ずし楽習塾講座「在宅医療を知ろう」　9月21日～12月21日、14時、全4回。逗子市民交流センター。無料。ハガキ、FAX、メールで申込。ずし楽習塾推進の会☎046・871・7007

▼歴史講演会「住吉城と三浦一族」　9月28日10時、逗子文化プラザ。鎌倉考古学研究所伊藤一美氏による講演。6百円。要申込。逗子の古文書・公文書等の保存と公開を進める会☎046・871・9674

▼近美リニューアルトークセッション　10月5日17時、鎌倉歴史文化交流館。神奈川県立近代美術館鎌倉別館が10月にリニューアルオープンするのを記念して市内5館文化施設学芸員がトーク。無料。申込は14日必着、FAXかメールで。同館FAX73・8501

第63回鎌倉市民文化祭 9月28日オープニング

第63回鎌倉市民文化祭が9～3月に行われる。そのオープニングイベントを9月28日に鎌倉芸術館で開催。

■集会室：12時半、ハンドベル演奏。書道や折り紙の体験。

■リハーサル室：13時、リコーダー、器楽演奏。

■和室：13時、民謡民舞、詩吟詩舞、鎌倉こども能。

9月28～10月2日美術・写真合同展。鎌倉芸術館ギャラリー。

市文化人権課☎61・3872

外反母趾と体の痛み

●甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症　ホルモンは脳の視床下部や下垂体、甲状腺、副腎、膵臓、性腺などから分泌。成長、生殖、代謝、排泄、身体の機能を正常に保つ重要な役割である。このホルモンは身体の新陳代謝と成長を調整し、皮膚や全身の臓器を調整している。

▽ホルモンが多い甲状腺機能亢進症　眼球突出、やせている、手のふるえ、多汗、代謝促進、顔や手が赤くなる、胸がドキドキする、髪が薄くなる、下肢がむくむ。

▽ホルモンが少ない甲状腺機能低下症　体温低下、皮膚は冷たい、汗をかきにくい、便秘がち、むくみ体重が増える、頭髪やまゆ毛は薄く、脈はゆっくり、動作が鈍くなる。

鎌倉　おすすめ　オステオパシー　で検索

マザーハンド整体矯正院

要予約　月曜定休　10～19時

鎌倉市扇ガ谷1―13―51　☎0467・23・8166

購入新図書のリスト抄

鎌倉市中央図書館（7月分）

鎌倉市中央図書館(☎25・2611)は7月に一般231冊、児童書69冊を収蔵した。一般的なものは下記の通り。

▼「海外で研究者になる一就活と仕事事情―」増田直紀著（中公新書）▼「米中ハイテク覇権のゆくえ」ＮＨＫスペシャル取材班著（ＮＨＫ出版新書）▼「子どもの人権と学校図書館」渡邊重夫著　青弓社▼「あらゆるストレスが消えていく50の神習慣」矢作直樹著　ワニブックス▼「考古学講義」北條芳隆編（ちくま新書）▼「宇和島伊達家の女性たち」宇神幸男著　現代書館▼「台湾見聞録―日本が残した足跡を訪ねて―」三栄（サンエイムック）▼「ロシアを知る。」池上彰・佐藤優共著　東京堂出版

▼「10年後のＧＡＦＡを探せ―世界を変える100社―」日経ビジネス編　日経ＢＰ▼「疲れない大百科―女性専門の疲労外来ドクターが教える―」工藤孝文著　ワニブックス（美人開花シリーズ）▼「リハビリ―生きる力を引き出す―」長谷川幹著（岩波新書）▼「人類、宇宙に住む―実現への３つのステップ―」ミチオ・カク著　ＮＨＫ出版

▼「大麻という農作物―日本人の営みを支えてきた植物とその危機―」大麻博物館▼「観光地経営の視点と実践」日本交通公社編著　丸善出版▼「40歳からｶﾗﾀﾞを変えた料理家の筋肉をつくる最強ﾒｿｯﾄﾞ」牛尾理恵著　朝日新聞出版▼「雑談の苦手がラクになる会話のきっかけレシピ」枚岡治子著　大月書店▼「鎌倉うずまき案内所」青山美智子著　宝島社

▼「かまくら谷戸の風」山内静夫　冬花社

鎌倉朝日歌壇

初めての投票用紙を丁寧に入れたる乙女の指先に未来　香山　静子　選

若者への期待感が出ている。

長雨をこらへこらへて夏は来ぬ茄子の胡瓜のトマトの夏よ　大船　小笹岐美子

野菜への優しさが滲み出ていて、リズム感もある。

卓上に並べられたるパプリカは赤・黄・オレンジますは目で食む　辻堂　柳　蒼

発想が新鮮で個性的。

たそがれは昼の花よりなお白く山裾に群るる蕎麦の星ぼし　片瀬　中村　喬

亡き母の化粧ポーチを手に取れば櫛にひとすじ光る白髪　逗子市　湊　美根子

買いたての白スニーカーきゅっきゅっとはいて出かける鰯雲の下　葉山町　近藤美知子

クーラーの効いてる部屋の向こう側熱く狂おしき蝉時雨　材木座　有野裕美子

天空に向かいて真っ直ぐ伸びる線の弾ける瞬間を息凝らし待つ　城廻　塩田　文子

庭に来し老鶯の声僧に似て経読むごとき勤行の朝　笛田　入野　裕江

孫よりの誕生祝の口紅を濃い目に差して梅雨を寵りぬ　葉山町　近藤　純

車窓越し青葉若葉のぶなはやし五能線ゆく白神山地　藤沢市　一色千穂子

きこゆ　岡本　鳴海　紀政

鎌倉朝日俳壇

〈天〉八幡宮木立中より蝉時雨　星野　高士　選

何と言っても八幡宮が利いている。

〈地〉うなぎやのにほひの中に長き列　逗子市　湊　美根子

土用の鰻屋の賑わいが伝わってきた好句。

〈人〉炎天の路面電車の軋む音　笛田　上田　満喜

炎天の中の軋む音で更に暑さが伝わってきた一句。

競い合ふ鳥の鳴き声夏木立　今泉　小林刀羊子

鳥も夏は思い切り鳴き合うのである。

竹林に響く水音秋立つ日　大船　添田　洋子

立秋と聞くとさわやかな音に聞こえてくる句に仕上がっている。

力はや尽きたる月下美人かな　金沢区　岩澤　正春

月下美人の力一杯の美しさと尽きるときの美しさを上手く伝えてくれた。

片陰を選んで犬は歩きゆく　材木座　有野　冬花

蜉蝣雌し蝉を見つめて応援す　城廻　増田　重雄

蝉時雨句作三昧谷戸は奥　材木座　羽賀　一男

年金の話あれこれ梅雨深し　城廻　小美野京子

漆黒の海の弾ける揚げ花火　腰越　小河　哲美

植木屋のかぶりつきたる冷え西瓜　腰越　松原　薫

一夜にて欅並木は蝉時雨　手広　高口　道宏

駅前はシャッター通り樽神輿　岡本　鳴海　紀政

懸命に幹に張り付くみんみん蝉　岡本　森田　孝

雨傘が日傘に代わる人の波　藤沢市　三浦　和子

切間なく雲吐く戸山梅雨明ける　逗子市　塩谷あい子

馬追いの武者の兜に秋の雨　葉山町　近藤　純

梅雨闇やきれいな服の人と逢う　藤沢市　青木寿美子

万縁の谷戸の鎌倉ひとり占め　藤沢市　槇野あさ子